

荒川区議会議員

「体は細いが、芯は太い」

清水ひろし



民主党・市民の会

からの手紙

平成 26 年 第 1 回定例会報告

荒川区議会平成 26 年第 1 回定例会が 3/17 に閉会し、過去最大規模となる 932 億円の新年度予算を含む 28 本の議案が可決成立しました。本会議と予算特別委員会初日の総括質疑では会派を代表して質疑を行いました。新年度も「区民が納得・満足の実感出来る区政」となるよう引き続き取組んで参ります。

児童虐待、マンション管理、自転車問題について質疑 —本会議—

今回の本会議質問においては児童虐待、マンション管理、自転車オートライトの普及、日暮里駅周辺の改善と活性化など 6 項目にわたり質疑を行いました。



●児童虐待問題

質問 児童相談所の都から区への移管の進捗はどうなっているか

答弁 新知事にも理解を求めた。23 区一丸となって早期移管に向けて取り組んでいく。

質問 区民からの虐待等に関する相談件数は毎年 2 倍のペースで増えている。関係部署との連携や事案対応のためにも組織体制の強化が必要ではないか。

答弁 人材育成、連携強化へ子ども家庭支援センターの体制整備に取り組む。

* 児童相談所移管・・・児童虐待に関する現行体制は、児童相談所（都）と子ども家庭支援センター（区）の二元体制になっている。そのため、その狭間に落ちるケースや、時間のロス、認識の温度差が生じている。23 区は権限を区に移管し、各区に児童相談所を設置することにより責任を明確化し、一貫した身近な見守り体制を構築することを目指している。

●マンション管理問題

質問 今後社会問題になる恐れがある。長期修繕計画が未作成の建物や、販売時に修繕費や管理費を安く設定して資金不足となる実態もある。区として販売業者へ適切な計画作成を要請し、あわせて区が実施しているマンションセミナーの情報共有化やマンション住民の自治意識向上への取組が必要ではないか。

答弁 管理費・積立金が購入後や居住後に値上がり、悩んでいる方がいることは区としても認識している。そういった注意点を記載したパンフレットの作成、セミナーでの事例等を公開することを検討していく。

●自転車保険、オートライトの普及

質問 自転車の交通取締りで最も多いのが無灯火運転である。オートライトは自動に明るさを感知して点灯するため、標準装備となれば無灯火運転はなくなる。普及への取組みを求める。あわせて、自転車事故による損害賠償額が高額な判決事例もあるため、保険加入の促進も必要ではないか。

答弁 警察署や自転車販売店等と連携して普及拡大の周知を進めていく。

932 億円、新年度予算が可決成立

過去最大規模となる一般会計 932 億円の新年度予算が可決成立しました。前年度との比較では 68 億円、7.9%の増となっています。

区分	26 年度	増減額・率
一般予算	932 億円	68 億円・ 7.9%
国保特会	259 億円	3.5 億円・ 1.4%
後期高齢者医療特会	45 億円	1.5 億円・ 3.4%
介護保険特会	166 億円	5 億円・ 3.3%
合計	1401 億円	78 億円・ 5.9%
基金残高	158 億円	△43 億円
区債残高	211 億円	11 億円

—主な新規事業—

- 荒川 2 丁目複合施設（図書館、吉村昭文学館、子ども施設）の建設着手。平成 28 年度開設予定。
- サンパール荒川（区民ホール）の大規模改修工事。今年 12 月に工事開始。来年 4 月から平成 28 年 3 月までは閉館。
- 全小中学校においてタブレット PC を 1 人 1 台体制で導入
- 地下機械式の駐輪場を今年 10 月、三河島駅に開設。地下機械式は区内初。
- 街路灯 LED 化の促進。3 力年で 5000 灯を LED へ。
- 私立認可保育園を整備。4 月に南千住 2 園、東日暮里 1 園、7 月にも東日暮里に 1 園開園。
- 小規模事業者経営力強化支援事業。設備投資等に要する経費助成。

—予算委員会質疑—

学校トイレの洋式化整備を求める



質問 トイレの洋式化率はふれあい館 78%、幼稚園 86%、保育園は 100%となっている。対して学校は小学校 44%、中学校 52%という状況にある。とりわけ小学校では比率 30%未満の学校が全 24 校の 1/3 ある。区施設との比較、子どもの成長過程、あわせて災害時の避難所となる視点も含め、洋式化を計画立てて進めることが必要ではないか。

答弁 策定中の中長期修繕計画、学校全体の改善計画の中でトイレの補修等についても積極的に改修を進め、洋式化を図っていく。



学校校庭の照明設置について

質問 9 校の校庭にナイター照明が設置されている。運動する活動の拠点を増やしていく視点から、新たに設置を拡大していく考えはないか。

答弁 ナイター照明があれば利用の幅も広がる。近隣の理解も必要なので進め方を検討して参りたい。

生涯学習センター広場の利用について

質問 生涯学習センター多目的広場は大人の利用が制限されている。少年野球やサッカー、保育園等の利用のない時間帯に大人の団体も利用出来るようにしていくべきではないか。

答弁 区民のスポーツ活動にとって有効な場である。整理をして、より有効活用が出来る方法を検討する。

保育園の看護師配置について

質問 2~3 日に 1 人の割合で園児が保育中に発熱している。全園に保育士を配置していくべきではないか。

答弁 現場の園長会、人事所管とも調整を行いながら検討していく。 *現在は 0 歳児園のみ配置している

清水啓史（38 歳 昭和 50（1975）年 5/7 日生 卯年 A 型 おうし座）

寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員
平成 19（2007）年 荒川区議選初出馬初当選。平成 23（2011）年 2 期目当選。

現在は「民主党・市民の会」幹事長、民主党荒川区支部幹事長。
議会では文教・子育て支援委員会、公共施設老朽化等対策調査特別委員会、議会運営委員会に所属。
家族は妻と娘（5 歳・平成 20（2008）年 12 月生）。

